

汎用的能力の育成を見据えて 「時事ワークシート」の活用

愛知みずほ大学瑞穂高等学校教諭

樫内 久義

【利用開始時期】

2013年（平成25年）4月 系列大学（愛知みずほ大学）で導入

2017年（平成29年）6月 高等学校導入

【利用背景（キーワード）】

活字ばなれ 高大接続 入試改革 主体的・対話的学び

語彙力・読解力・文章作成力の低下 ロジカルシンキング・クリティカルシンキングの育成

【利用コンテンツ】

「新聞の読み解き」「図とグラフ」「実践ことば力」（「週刊トップニュース」「社説キーワード」）

【活用状況】

入試対策など

主に大学の推薦・A0入試の小論文・面接対策、志望理由書作成指導で利用。

「新聞の読み解き」のワークシートを、そのまま、または、アレンジして使用。

ホームルーム

週末課題として2種類をランダムに選択して出題。月曜日に解答配布し、自己採点させた後、回収。

「総合的な学習」

スケジュールに合わせ、枚数、種類を選択。時間内に解答を配布し、自己採点をさせ、回収。

授 業

「実践ことば力」1回分を授業開始後に実施、正答を発表後、解説。自己採点させた後、回収。

数回分をまとめて復習として確認テストのようなものを実施する予定。

長期休暇中の課題

「新聞の読み解き」を5回分印刷し、冊子にまとめて課題とした。

【利 点】

タイムリーな素材 素材選びの手間が省ける ワークシートが簡潔
解説付きの模範解答が用意されている
教科の枠を超えて利用可能（キャリア教育・「総合的な学習」など）

【感 想】

[生 徒]

- ・新聞を読む習慣がなかったが、授業を通してニュースや時事問題などにも興味を持つようになった。
- ・新聞の文章が文章構成の理解につながると感じたのでたくさん読んで、自分で文章を書く際にも参考にしようと思った。
- ・新聞を自主的に読む習慣がついた。
- ・1つのことについて深く考える習慣がついた。
- ・自分の意見をしっかり書くことができるようになった。
- ・文章が書けるようになっただけでなく読解力が身について第一志望校に合格できた。

[教 員]

- ・知っているニュースの関しては、興味を持って取り組む。
- ・問題数が多くないため、さほど抵抗感を感じていない様子。
- ・ニュースで見聞きした時事事項が出題されているため、興味を持って取り組んでいる。
- ・問題数が多くないため、継続が容易。
- ・生徒はいたって真面目に取り組んでいる。
- ・主に「新聞の読み解き」を使用したがるが、生徒が取り組みやすいように工夫されていて使いやすかった。
- ・小論文や面接の指導で使用したが、回を重ねるごとに文章の内容や面接の受け応えにおいて生徒の成長が実感できた。
- ・推薦入試対策の小論文指導で使用したが、専門分野の知識に関して新書などを読ませるよりも新聞記事のほうが生徒にとって取り組みやすいし、最新の話題について触れることができ有用だった。

【今後の展開】

「朝学」への導入 「総合的な学習」での体系化

【現状の課題】

利用促進 利用素材の調整